

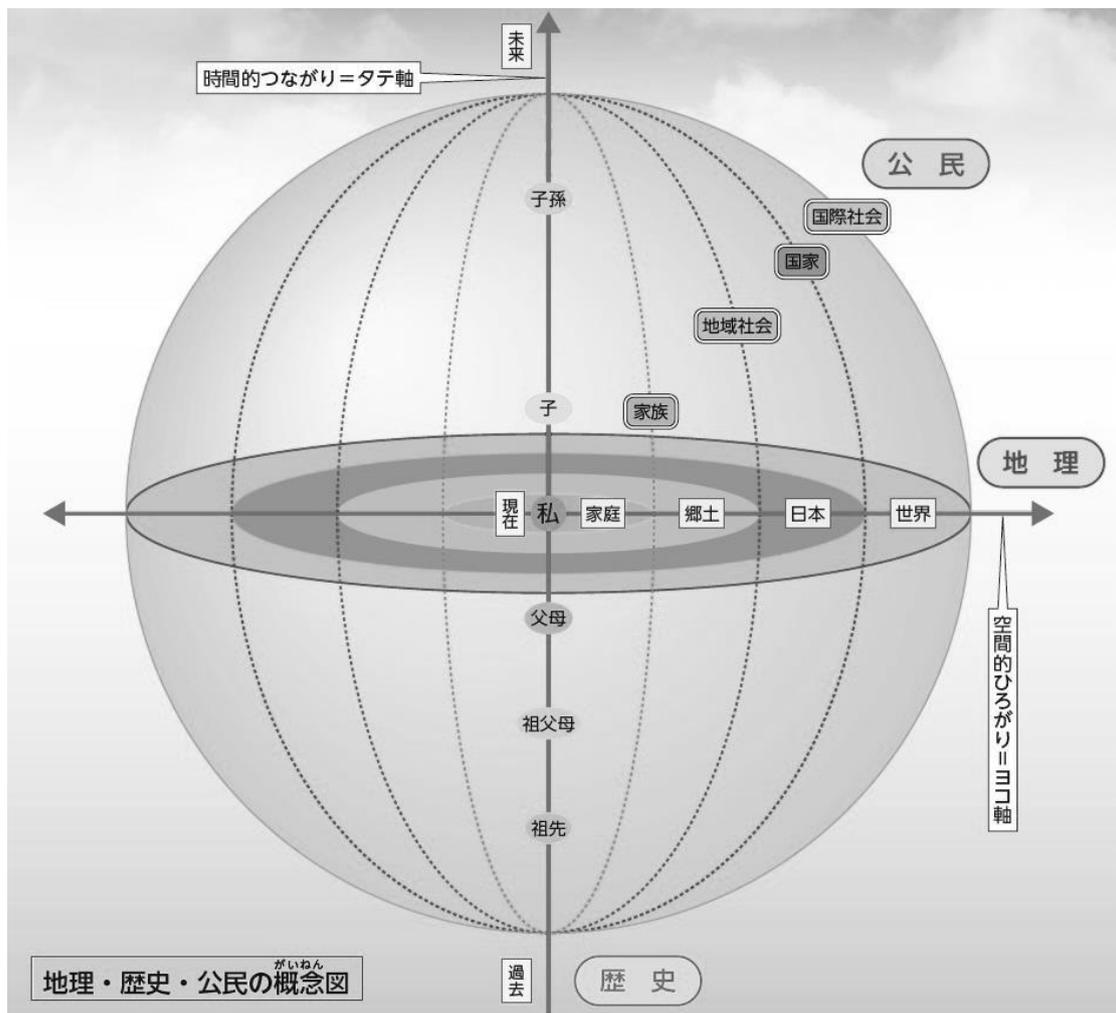
編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※ 受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-39	中学校	社会科	公民的分野	3年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
227 育鵬社	公民 906	[最新] 新しいみんなの公民		

1. 編修の趣旨及び留意点

本書は、生徒一人ひとりが、歴史的分野で学習した「日本の歴史」に連なる存在であることを自覚した上で、「家族・地域社会・国家・国際社会」と「自分」の関係を認識することにより、これからの日本の国や地域社会を支え、国際社会に貢献できる日本人としての公民的資質の基礎を養うことを意図して編集しました。



2. 編修の基本方針

本書は教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために、以下の基本方針で編集しました。

**「他人事」が
「自分事」に
なる編集で、
生徒の学習意欲が
確実に高まる！**

- (1) 生徒が「自分の立ち位置」を知り、「他人事」を「自分事」としてとらえることで、現代社会への興味・関心・意欲を高め、自ら考える態度を育てます。
- (2) 現代社会の理想と現実を、本文と豊富な資料、コラムで示し、多面的・多角的な考察力、公正な判断力、適切な表現力を養います。
- (3) 現代社会についての基礎的・基本的な知識と、見方や考え方の基礎などを確実に定着させ、公民として必要な資質を育みます。

(1) 生徒が「自分の立ち位置」を知り、「他人事」を「自分事」としてとらえることで、現代社会への興味・関心・意欲を高め、自ら考える態度を育てます。

① 生徒が「自分の立ち位置」を知る

小学校社会科で学習した関連内容については各章扉で、地理的分野・歴史的分野で学習した関連内容については該当する見開きで紹介することにより、小・中の系統性と3分野の関連性を高め、スムーズに学習に入れるようにしました。

それにより、生徒一人ひとりが地理・歴史の学習を踏まえて、「家族・地域社会・国家・国際社会」と「自分」の関係を認識し、自主及び自律の精神を養えるようにしました。

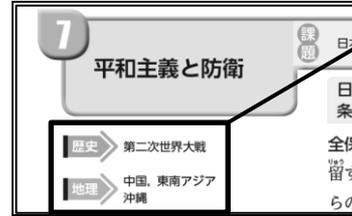
○ 小学校社会との接続



▲p.7

各章の扉には、小学校で学習した関連内容を紹介しています。

○ 地理・歴史との接続



▲p.50

地理・歴史で学習した関連内容については、該当する見開きで紹介しています。

② 「他人事」を「自分事」としてとらえる教材

◆ 各章に「入り口」と「これから」を設置

各章の導入に、章全体の学習内容の趣旨をとらえさせる言語活動の見開き「入り口」を設け、各章の学習内容への興味・関心を促すようにしました。

また、2～5章の章末には、その章で学習した内容を踏まえて、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察したり、社会に見られる課題を把握してその解決に向けて構想したり、未来の姿を構想できるような課題に取り組む「これから」を設け、学びに向かう力や人間性を養えるようにしました。

◆ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進をサポートする豊富な教材

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進をサポートする豊富な言語活動を設けました。これらの活動に取り組むことにより、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました。

- 「スキルアップ」を7か所設置し、発表や議論のしかた、ロールプレイング、ディベート、KJ法、ランキング、ポスターツアーなど、公民の基礎的な技能を身につけられるようにしました。
- 本文での学習を詳しく説明したり関連する内容を取り上げた「学習を深めよう」を、49か所設置し、知識、思考力・判断力を身につけられるようにしました。
- 本文の学習を深めるために、個人やグループで作業や活動を行う「やってみよう」を17か所設置し、技能や表現力を身につけられるようにしました。
- 教科書で紹介した学習資料について、考えたり、調べたりする課題を示す「TRY!」を適宜設置しました。

③ 伝統と文化に関する豊富な教材

p.18-25「第1章 第2節 現代社会の文化と私たちの生活」を中心に、我が国の年中行事や伝統文化に関する写真などを多数紹介し、p.24-25「やってみよう：身近な祭りを調べてみよう」では、地域の祭りについて調べる活動を設け、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました。また、学習資料として p.210-211「日本の伝統文化」を設けました。

さらに、p.22-23「文化の継承と創造」、p.178-179「文化と宗教の多様性」など、グローバル化の時代の国境をこえた文化の交流と多様性について紹介し、他国を尊重する態度を養えるように配慮しました。

(2) 現代社会の理想と現実を、本文と豊富な資料、コラムで示し、多面的・多角的な考察力、公正な判断力、適切な表現力を養います。

① 現代社会の理想と現実が分かる教材

豊富な写真や新聞記事を用いて、生徒が日本と世界の抱えるさまざまな課題に関する幅広い知識と教養を身に付けてもらえるように工夫しました。また、国際情勢、安全保障問題など、国際政治の力学を踏まえた現実主義の視点から記述し、生徒が真理を求める態度を養えるように配慮しました。

- 「防災教育」について、p.12-13「情報から知る現代と未来」、p.14-15「学習を深めよう：情報と大規模災害」では情報化との関連で取り上げ、防災情報の発信・活用に関して学べるようにしました。
- 情報化など知識基盤社会化による産業や社会の構造的な変化について、p.12-13「情報から知る現代と未来」では情報通信技術（ICT）、ビッグデータ、人工知能（AI）、IoT（モノのインターネット）などについて取り上げました。それを踏まえて、p.131「学習を深めよう：第四次産業革命」、p.145「学習を深めよう：フィンテック」、p.199「Society 5.0」などでは、「起業」と関連付けて詳しく取り上げています。

②領土に関する記述のさらなる充実

p. 182-183「国家の権利」、p. 186-187「領土・領海をめぐる問題」、p. 188-189「学習を深めよう：日本の領土をめぐる問題」では、我が国固有の領土である北方領土や竹島に関する領土問題や、尖閣諸島をめぐる情勢について、外務省ウェブサイトに掲載されている我が国政府の見解を要約して紹介しながら、地理的分野、歴史的分野における学習の成果も踏まえて記述することにより、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました。

③新聞活用教育（NIE）を促すために、新聞記事を多数掲載

新聞を活用した授業を促すために、**新聞記事を多数掲載**しています。自分が生きている社会を教材にすることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました。

(3) 現代社会についての基礎的・基本的な知識と、見方や考え方の基礎などを確実に定着させ、公民として必要な資質を育みます。

①持続可能な社会をつくるための教材の充実

巻頭口絵①-②「**持続可能な開発目標（SDGs）**」では、2015年の国連サミットで採択された、2030年までの国際開発目標である17のゴールを示しました。教科書で学習する内容について、17のゴールのどれに当たるのかを考えながら進めることができます。

また、p. 168-169「**国際社会の入り口**」、p. 170-171「**SDGsがめざす持続可能な開発**」、巻末付録①-②「**持続可能な社会をめざして**」を中心に、SDGsに関する教材を豊富に紹介することにより、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。

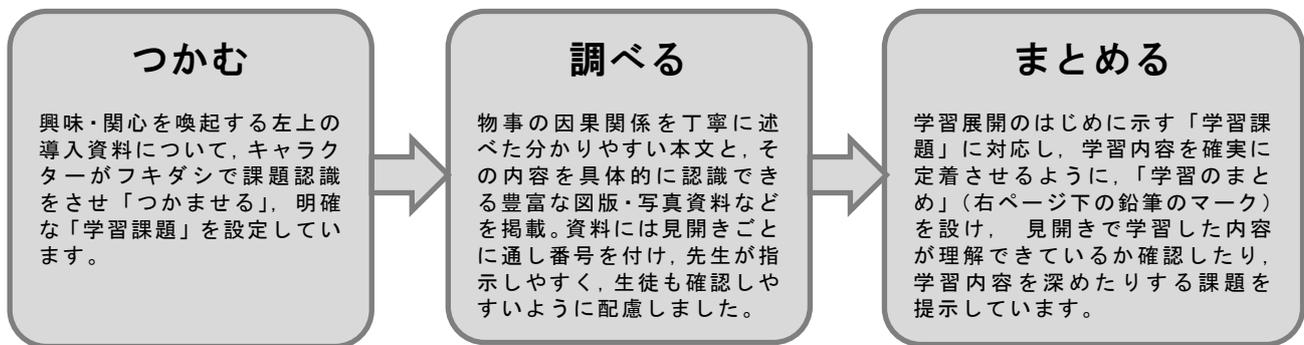
②公民的資質を養うための教材の充実

p. 36-37「**憲法の入り口**」、p. 72-73「**憲法のこれから**」、p. 76-77「**政治の入り口**」、p. 112-113「**政治のこれから**」など、選挙権年齢引き下げに伴い、政治参加などに関する主権者教育のための教材を充実させました。

また、p. 60-61「**学習を深めよう：『ともに生きる』ためにできること**」、p. 86-87「**やってみよう：新聞の社説を比べてみよう—ディベート—**」、p. 102-103「**やってみよう：裁判員になって判決を考えよう—シミュレーション—**」、p. 162-163「**やってみよう：人生をデザインしよう—シミュレーション—**」など、豊富なコラムを設け、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。

③公民的資質を育む紙面構成

見開き1単位時間の紙面で、社会科の原則である問題解決型の学習過程、



の流れを明確にし、生徒が幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました。

④具体的な事例を通して学べる「対立と合意、効率と公正」

学習指導要領の「現代社会をとらえる見方や考え方」について、p. 32-33「**対立から合意へ**」を中心に、各章の「入り口」「これから」など、「対立と合意、効率と公正」について学べる教材を随所に配置することにより、正義や責任、自他の敬愛と協力について考えることができるようにしました。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
持続可能な開発目標（SDGs） 持続可能な社会をめざして	・豊富な写真を用いて、生徒が日本と世界の抱えるさまざまな課題に気付いき、興味・関心を持つことができました（第1号）。	巻頭①② 巻末①②
なぜ「公民」を学ぶのか 「公民」について	・生徒が、歴史的分野で学習した「日本の歴史」に連なる存在であることを自覚した上で、「家族・地域社会・国家・国際社会」と「自分」の関係を認識することにより「自分の立ち位置」を知り、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました（第1号）。	口絵③-1 2-3

第1章 私たちの生活と現代社会	・導入に言語活動に取り組む見開きを設け、章の学習内容に興味・関心を持ち、章の学習の基本となる考え方に気付くように工夫しました（第1号）。	8-9
第1節 私から見える現代の日本社会	・グローバル化、情報化、少子高齢化について、具体例を挙げてバランスよく紹介することにより、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました（第1号）。	10-17
第2節 現代社会の文化と私たちの生活	・少子高齢社会の課題について、グラフや図版を取り上げながら、公共の精神に基づいて、主体的に考えることができるようにしました（第3号）。	16-17
第3節 現代社会をとらえる見方や考え方	・我が国の年中行事や伝統文化を紹介し、興味を促すようにしました（第1号、第5号）。	18-25
	・科学技術の発達とその課題について、具体例を挙げてバランスよく紹介するとともに、生命の偉大さについて知り、畏敬の念をはぐくめるようにしました（第4号）。	18-19
	・地域の祭りについて調べる活動を通し、郷土への関心を深めることができるようにしました（第5号）。	24-25
	・真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うにあたり、「現代社会をとらえる見方や考え方」の基礎である「対立と合意、効率と公正」について学べるようにしました（第1号）。	26-33
	・我が国の歴史と伝統と文化を育んできた、家族と郷土という社会集団について、具体例を通して、考えられるようにしました（第5号）。	26-29
第2章 私たちの生活と政治 日本国憲法の基本原則	・導入と章末に言語活動に取り組む見開きを設け、章の学習内容に興味・関心を持ち、章の学習の基本となる考え方に気付くとともに、章の学習全体を通して公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました（第1号、第3号）。	36-37 72-73
第1節 日本国憲法の基本原則	・日本国憲法の基本原則である国民主権、基本的人権の尊重、平和主義について、具体例を挙げてバランスよく紹介することにより、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました（第1号）。	38-53
	・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について詳しく取り上げ、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました（第5号）。	42-43
	・日本国憲法の平和主義について、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察するとともに、各国の相互理解と協力などの役割の重要性について認識できるようにしました（第5号）。	48-51
第2節 基本的人権の尊重	・基本的人権を尊重する態度を養うために、歴史的分野の学習の成果を生かしながら、日本国憲法の平等権や政府の政策を交えて説明し、理解を深められるようにしました（第2号）。	54-71
	・差別や男女の平等については、偏った理解にならないように、日本国憲法の平等権や政府の政策などを通して説明しています（第3号）。	56-61
	・個人の価値を尊重する態度を養うために、国境をこえる人権問題の例を挙げ、歴史的分野の学習の成果を生かしながら、理解を深められるようにしました（第2号）。	68-71
第3章 私たちの生活と政治 民主政治と政治参加	・導入と章末に言語活動に取り組む見開きを設け、章の学習内容に興味・関心を持ち、章の学習の基本となる考え方に気付くとともに、章の学習全体を通して公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました（第1号、第3号）。	76-77 112-113
第1節 民主政治のしくみ	・議会制民主主義の意義や、民主政治のしくみについて、具体例を挙げてバランスよく紹介することにより、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました（第1号）。	78-85
	・正反対の立場からの新聞の社説を取り上げ、ディベートをする学習を通して、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました（第3号）。	86-87
第2節 国の政治のしくみ	・国会、内閣、裁判所のしくみや働きについて、具体例を挙げてバランスよく紹介することにより、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました（第1号）。	88-105
	・裁判員制度について詳しく取り上げ理解を促すとともに、裁判員となって具体的な事例を通して考えるページを設け、正義と責任について学習できるようにしました（第1号、第3号）。	100-103
第3節 地方自治と住民	・地方公共団体の仕事やまちづくりについて、身近な例を示しながら理解をはぐくむとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました（第1号、第3号）。	106-111
第4章 私たちの生活と経済	・導入と章末に言語活動に取り組む見開きを設け、章の学習内容に興味・関心を持ち、章の学習の基本となる考え方に気付くとともに、章の学習全体	116-117 164-165

	を通して公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました（第1号、第3号）。	
第1節 消費と経済	・身近な消費生活を中心に、経済活動の意義について具体例を挙げてバランスよく紹介し、経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察する活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度と、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるようにしました（第1号、第2号）。	118-127
第2節 生産と労働	・企業の社会的責任や社会貢献、働くことの意義と役割について、具体的な事例を挙げながら説明することにより、理解を深め、勤労を重んずる態度を養えるようにしました（第1号、第2号）。	128-141
第3節 市場経済と金融	・市場経済の基本的な考え方や、金融のしくみや働きなどについて、具体的な事例を挙げながら説明することにより、理解を深め、勤労を重んずる態度を養えるようにしました（第1号、第2号）。	142-149
第4節 政府の役割と国民の福祉	・社会資本や公害の防止など環境の保全、財政及び租税の意義、社会保障などについて、具体的な事例を挙げながら説明することにより、理解を深め、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました（第1号、第3号）。	150-163
	・少子高齢化や社会保障の課題について、グラフや図版を取り上げながら、公共の精神に基づいて、主体的に考えられるようにしました（第3号）。	156-159
	・日本の公害問題と、その後の環境保全の取り組みを、歴史的な事例などを通して考えることができるようにしました（第4号）。	160-161
第5章 私たちと国際社会の課題	・導入と章末に言語活動に取り組む見開きを設け、章の学習内容に興味・関心を持ち、章の学習の基本となる考え方に気付くとともに、章の学習全体を通して公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました（第1号、第3号）。	168-169 200-201
第1節 持続可能な社会をつくるために	・持続可能な社会の形成について、海外の事例を写真やコラムで紹介しながら、生命を尊び、自然を大切に、資源や環境を保全するための方策について考えられるようにしました（第1号、第4号）。	170-177
	・世界文化遺産など、グローバル化に関して話題の事例を示しながら、他国を尊重し、国際社会の平和と発展について考えられるようにしました（第1号、第5号）。	178-179
第2節 国際社会の中の日本	・日本国憲法の平和主義を踏まえ、国際社会における人権問題や地域紛争、核兵器の問題について詳しく取り上げ、各国民の相互理解と協力などの役割の重要性について認識するとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました（第1号、第5号）。	180-197
よりよい社会をめざして	・社会科のまとめとして、「持続可能な社会の形成」という観点から、テーマの設定から、プレゼンテーションを通じてレポートにまとめるまでの一連の学習の流れを通して、社会科の学習についてまとめられるようにしました（第4号）。	203-209

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

資料や本文の充実したワイド判の紙面

- 判型を AB 判にすることで、図版や写真などの資料を大きく見せて豊富に掲載し、生徒の興味・関心を促すようにしました。

学習を助ける学習資料の充実

- 公民の学習に欠かせない主な法令や年表、日本の伝統文化の一覧表など、学習資料を巻末に充実させました。日本国憲法には難しい用語の解説を付け、理解を深められるように配慮しました。

授業を円滑に進める図版番号

- 図版資料には、見開きごとに通し番号を付け、先生が示しやすく、生徒も確認しやすいように配慮しました。

カラーバリアフリーへの配慮，ゴシック体のふりがな

- 図版は色覚特性を踏まえて、判別しやすい色の使用や表示の工夫により、生徒が見やすいように配慮しました。
- ふりがなにはゴシック体を用い、小さな文字が読み取りにくい生徒も読みやすいように配慮しました。

環境への配慮

- 教科書には、環境への負荷の少ない再生紙と植物油インキを使用しました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※ 受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-39	中学校	社会科	公民的分野	3 年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
227 育鵬社	公民 906	[最新] 新しいみんなの公民		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

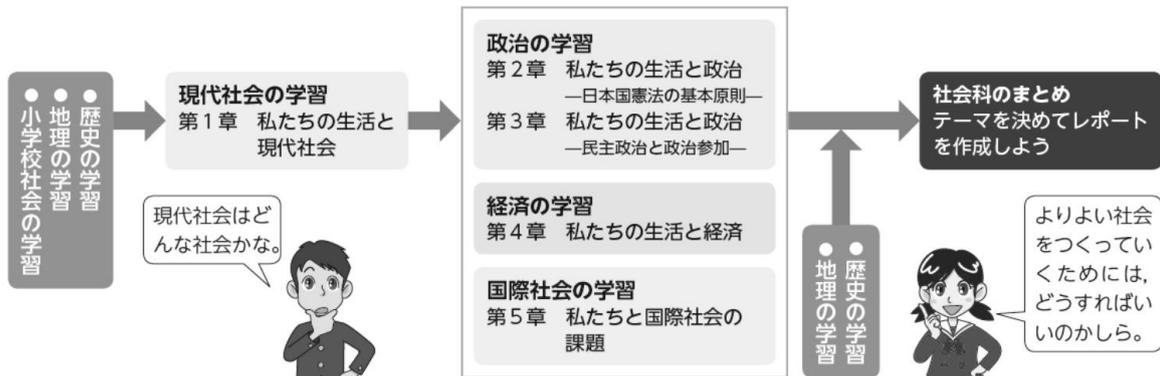
特色 1

“公民の学習の流れが見える”教科書

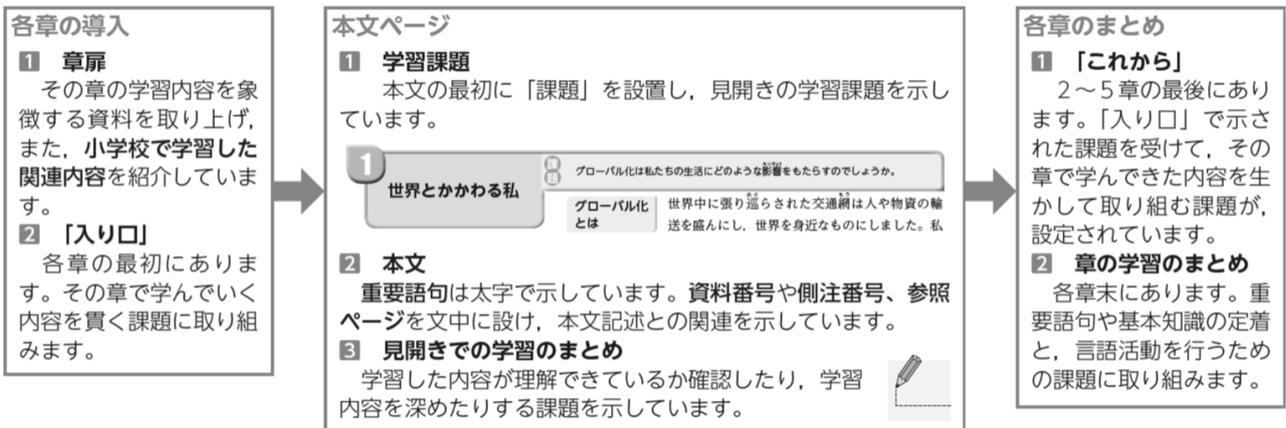
生徒が基礎的な知識・技能を習得できるように教材を充実させました。また、社会的事象を自分事としてとらえられる教材を各章にバランスよく配置し、全体を構成しました。生徒の学習意欲を高め、持続可能な社会を実現するための公民としての基礎的教養を育みます。

小学校社会科で学習した関連内容については各章扉で、地理的分野・歴史的分野で学習した関連内容については該当する見開きで紹介することにより、小・中の系統性と3分野の関連性を高め、スムーズに学習に入れるようにしました。

教科書の基本構成



各章の基本構成



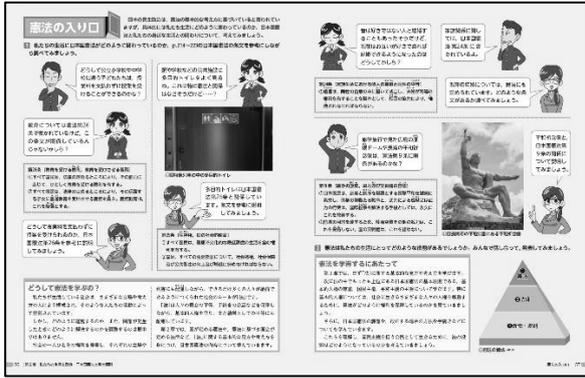
各章には、学習の段階に応じた多様な言語活動を掲載しました。習得した知識・技能を活用して考えたり、判断したり、表現したりする力を育みます。

○各章の「入り口」と「これから」

各章の導入に、章全体の学習内容の趣旨をとらえさせる言語活動の見開き「入り口」を設け、各章の学習内容への興味・関心を促すようにしました。

また、2～5章の章末には、その章で学習した内容を踏まえて、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察したり、社会に見られる課題を把握してその解決に向けて構想したり未来の姿を構想できるような課題に取り組む「これから」を設け、学びに向かう力や人間性を養えるようにしました。

各章の「入り口」



▲p.36-37「2章憲法の入り口」

p.8-9「1章現代社会の入り口」, p.76-77「3章政治の入り口」,
p.116-117「4章経済の入り口」, p.168-169「5章国際社会の
入り口」

各章の「これから」



▲p.72-73「2章憲法のこれから」

p.112-113「3章政治のこれから」, p.164-165「4章経済のこれか
ら」, p.200-201「5章国際社会のこれから」

○思考力・判断力・表現力を育む毎時間の言語活動（鉛筆マーク）

本文見開きページでは、各時間の終わりに、見開きごとの「学習のまとめ」（右ページ下の鉛筆マーク）を設けました。1時間の学習内容を自分の言葉でまとめるだけでなく、問い方にバリエーションを持たせ、社会的事象の意味、意義を解釈したり、事象間の関連を説明させるような言語活動に取り組みます。それにより、授業の最後や自宅学習などで無理なく生徒の基礎的な言語力を養えます。



▲p.19



▲p.39

○多面的・多角的な視点を提供する教材の充実

現代の社会事象を生徒が多面的・多角的にとらえ、また、学習した知識を活用していくためにさまざまな教材を掲載しました。

📖 学習を深めよう（49か所）

本文での学習を詳しく説明したり関連する内容を取り上げ、知識、思考力・判断力を身につけられるようにしました。

👉 やってみよう（17か所）

本文の学習を深めるために、個人やグループで作業や活動を行い、技能や表現力を身につけられるようにしました。

特色2 「つかむ、調べる、まとめる」問題解決型学習の教材配列

生徒の学習に対する興味・関心を高め、内容の理解へと導く過程を紙面に構成しました。「つかむ」ための資料、「調べる」ための資料、「まとめる」ための資料をバランスよく配置。1時間で資料を効果的に使い、問題解決できるような課題設定と、資料や調査学習を通して「考え」「判断した」ことを自分なりの表現方法でまとめるテーマ設定で、知識・思考・判断・表現の一体化を図りました。

つかむ

①生徒の興味・関心を高める導入資料

見開きの冒頭には複数の資料を掲載し、生徒が興味・関心を持って学習できるようにしました。

②生徒に課題認識をさせるフキダシ

導入資料を読み取る視点を提示しています。課題を主体的にとらえ、生徒の学習をサポートします。

③学習のねらいがわかる【学習課題】

見開きで「何を学ぶのか」を明確に示して、生徒が見通しを持ちながら学習を進めることができます。

① 世界文化遺産サグラダ・ファミリア（現在も建築中、右上写真）の主任彫刻家、外尾悦郎さん（スペイン・バルセロナ）

【外務省資料】
② 海外で暮らす日本人数の推移
③ 日本での移

1 世界とかかわる私

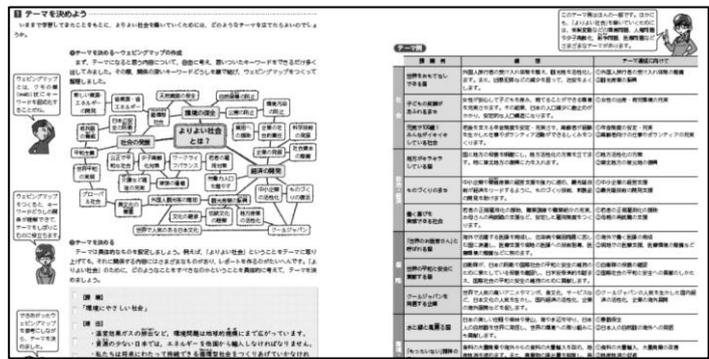
3 課題 グローバル化は私たちの生活のどのような点に見られますか。

グローバル化とは 世界中に張りめぐらされた交通網輸送を盛んにし、世界を身近な

▲p.10

○持続可能な社会を築いていくための「社会科のまとめ」の言語活動（よりよい社会をめざして）

中学校3年間の社会科の学習を通して得た知識や技能を用いて、社会科のまとめとして「持続可能な社会の形成」という観点から課題を探究し、レポートにまとめる単元を設けています。仮説の立て方やプレゼンテーションなどの言語活動も掲載し、社会科の学習内容を自らの生き方へと結び付け、社会に参画する態度を養っていきます。



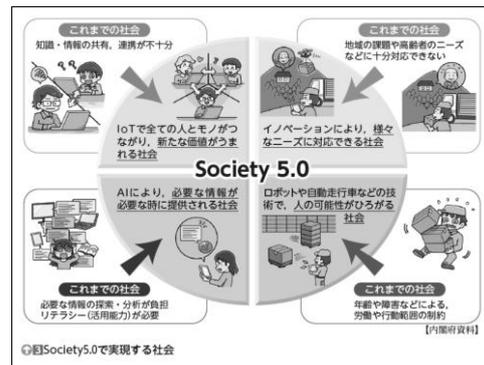
▲p.203-209

特色4 現代社会の課題に主体的に向き合う多様な教材

○現代社会の理想と現実が分かる教材

豊富な写真や新聞記事を用いて、生徒が日本と世界の抱えるさまざまな課題に関する幅広い知識と教養を身に付けられるようにしました。

- 防災教育** 「情報化」との関連で防災情報の発信・活用に関して学べます。⇒p.12-13, 14-15 など
- 情報化** 知識基盤社会化による産業や社会の構造的な変化について、情報通信技術（ICT）、ビッグデータ、人工知能（AI）、IoT（モノのインターネット）などについて取り上げました。⇒p.12-13 また、「起業」と関連付けて詳しく取り上げました。⇒p.131, 145, 199 など



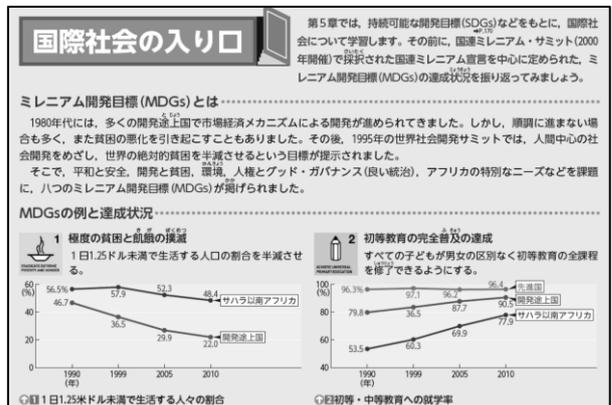
▲p.199

○持続可能な社会をつくるための教材

持続可能な開発目標（SDGs）に関する教材を豊富に紹介することにより、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。⇒巻頭口絵①②, p.168-169, 170-171, 巻末付録①②など



▲巻頭口絵①②



▲p.168

○公民的資質を養うための教材

選挙権年齢引き下げに伴い、政治参加などに関する主権者教育のための教材を充実させました。⇒p.36-37, 72-73, 76-77, 112-113 など また、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。⇒p.60-61, 86-87, 102-103, 162-163

○領土に関する記述のさらなる充実

我が国固有の領土である北方領土や竹島に関する領土問題や、尖閣諸島をめぐる情勢について、我が国政府の見解を紹介しながら、地理的分野、歴史的分野における学習の成果も踏まえて記述しました。⇒p.182-183, 186-187, 188-189 など

○伝統と文化に関する豊富な教材

伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました。⇒p.18-25, 24-25, 210-211 など また、グローバル化の時代の国境をこえた文化の交流と多様性について紹介し、他国を尊重する態度を養えるように配慮しました。⇒p.22-23, 178-179 など

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
持続可能な開発目標 (SDGs) なぜ「公民」を学ぶのか、「公民」について	D (2)ア, <内容の取り扱い> (1)ア	巻頭①② 巻頭③-p. 2	1
第1章 私たちの生活と現代社会			
現代社会の入り口	A (1)ア (ア)	p. 8-9	1
第1節 私から見える現代の日本社会	A (1)ア (ア), イ (イ)	p. 10-17	4
②情報から知る現代と未来	<内容の取り扱い> (2)ア (ア)	p. 12-13	
【学習を深めよう】情報と大規模災害	<内容の取り扱い> (1)オ, (2)ア (ア)	p. 14-15	
第2節 現代社会の文化と私たちの生活	A (1)ア (イ), イ (イ) <内容の取り扱い> (2)ア (ア) (イ)	p. 18-25	4
【やってみよう】身近な祭りを調べてみよう	<内容の取り扱い> (1)オ	p. 24-25	
第3節 現代社会をとらえる見方や考え方	A (2)ア (ア) (イ), イ (イ)	p. 26-33	5
第2章 私たちの生活と政治—日本国憲法の基本原則—			
憲法の入り口	A (2)イ (ア) C (1)イ (ア)	p. 36-37	1
第1節 日本国憲法の基本原則	C (1)ア (イ) (ウ), イ (イ)	p. 38-53	8
③国民主権と天皇	C (1)ア (エ)	p. 42-43	
⑥平和主義, ⑦平和主義と防衛	D (1)イ (ア)	p. 48-51	
第2節 基本的人権の尊重	C (1)ア (ア), イ (イ)	p. 54-71	9
憲法のこれから	A (2)イ (ア), C (1)イ (ア)	p. 72-73	1
第3章 私たちの生活と政治—民主政治と政治参加—			
政治の入り口	A (2)イ (ア), C (2)イ (ア)	p. 76-77	1
第1節 民主政治のしくみ	C (2)ア (ア) (イ), イ (イ)	p. 78-87	5
第2節 国の政治のしくみ	C (2)ア (ア) (イ) (ウ), イ (イ)	p. 88-105	
⑦国民の司法への参加	<内容の取り扱い> (4)ア	p. 100-101	
【やってみよう】裁判員になって判決を考えよう	<内容の取り扱い> (1)オ, (4)ア	p. 102-103	9
第3節 地方自治と住民	C (2)ア (エ), イ (イ)	p. 106-111	
政治のこれから	A (2)イ (ア), C (2)イ (ア)	p. 112-113	1
第4章 私たちの生活と経済			
経済の入り口	A (2)イ (ア), B (1)イ (ア)	p. 116-117	1
第1節 消費と経済	B (1)ア (ア) (イ), イ (イ)	p. 118-127	5
①お金と経済の見方や考え方, ②希少性と選択	<内容の取り扱い> (3)ア (ア)	p. 118-121	
④消費者の権利と保護	<内容の取り扱い> (3)イ (イ)	p. 124-125	
第2節 生産と労働	B (1)ア (ア) (ウ) (エ), B (1)イ (ア) (イ)	p. 128-141	7
②企業の役割と責任	<内容の取り扱い> (3)ア (イ)	p. 130-131	
⑥労働問題と働き方改革	<内容の取り扱い> (3)ア (イ)	p. 138-139	
【学習を深めよう】日本企業の技術力とアイデアを世界に活かす	<内容の取り扱い> (1)オ	p. 140-141	4
第3節 市場経済と金融	B (1)ア (ア) (イ) (ウ), イ (イ)	p. 142-149	
①市場経済と価格	<内容の取り扱い> (3)ア (ア)	p. 142-143	
②金融のはたらき~④グローバル化する経済	<内容の取り扱い> (3)ア (イ)	p. 144-149	7
第4節 政府の役割と国民の福祉	B (2)ア (ア) (イ), イ (イ) (イ)	p. 150-163	
②財政と租税, ⑤社会保障制度と財政	<内容の取り扱い> (3)イ (イ)	p. 152-153 p. 158-159	
【やってみよう】人生をデザインしよう	B (1)イ (ア) (イ), <内容の取り扱い> (1)イ	p. 162-163	1
経済のこれから	A (2)イ (ア), B (1)イ (ア)	p. 164-165	
第5章 私たちと国際社会の課題			
国際社会の入り口	A (2)イ (ア), D (2)ア	p. 168-169	1
第1節 持続可能な社会をつくるために	D (1)ア (イ), イ (イ)	p. 170-179	5
⑤文化と宗教の多様性	<内容の取り扱い> (5)ア (イ)	p. 178-179	
第2節 国家と国際社会	D (1)ア (ア), イ (イ)	p. 180-199	
①国家と私たち	<内容の取り扱い> (5)ア (ア)	p. 180-181	10
②国家の権利, ③領土・領海をめぐる問題, 【学習を深めよう】日本の領土をめぐる問題	<内容の取り扱い> (5)ア (ア)	p. 182-183 p. 186-189	
④世界平和の実現にむけて	<内容の取り扱い> (5)ア (イ)	p. 190-191	
⑤国際連合のはたらき	<内容の取り扱い> (5)ア (ア)	p. 192-193	
国際社会のこれから	A (2)イ (ア), D (2)ア	p. 200-201	1
よりよい社会をめざして	D (2)ア, <内容の取り扱い> (5)イ	p. 203-209	5
		合計	100